

志摩市あんしん見守りネットワークについて

1. 目的

「志摩市あんしん見守りネットワーク」は、地域で暮らすすべての人々を福祉コミュニティづくりのための社会資源と考え、困りごとのある人や支援の必要な家庭を、日常業務や普段の暮らしの中で地域のみんなで見守り支えていこうというものである。

警察署をはじめ「あんしん見守り協力員」に登録している自治会や民生委員・児童委員、金融機関、商店など数多くの地域の関係者と協力・連携を図り、地域に密着した見守りを行うことで市民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを目的にネットワークの構築を図っていく。

2. ネットワークの取組み（状況）等について

（1）志摩市あんしん見守り協力員登録者

登録者数：615人（平成20年1月31日現在）

地区別内訳数：・浜島地区 52人　・大王地区 55人　・志摩地区 122人
・阿児地区 226人　・磯部地区 158人　・その他 2人

職種別内訳数：・自治会 156人
・民生委員・児童委員 130人（元民生委員・児童委員含む）
・金融機関 98人
（銀行 35人・農協 32人・漁協 18人・郵便局 13人）
・商工関係 90人
・福祉委員 29人
・介護事業所 22人
・一般住民 58人
・その他 32人

（2）あんしん見守り協力員の主な役割

高齢者や子ども、障がい者などへの虐待の早期発見・防止

生活困窮や困りごとがあっても訴えることのできない家庭の早期発見

認知症のある徘徊高齢者の安全確保

孤立死防止のための独居高齢者に対する安否確認

（例）

- ・高齢者、障がい者、子どもが道や店で困っていたら、「ひと声」かける。
- ・「ゴミだらけ・・・」「生活に困っているのかも・・・」「いつも怒鳴り声が・・・」など気になる家庭があったら、ふくし総合支援室へ知らせる。
- ・「　　さんが行方不明です」の市内放送が流れたら、自宅や店舗の周囲を確認する。
- ・認知症らしい人が迷っていたら、店や自宅で保護をする。本人に了解を得て、持ち物を確認して、「あんしんネーム」をもっていたら連絡先へ電話を入れる（持っていない場合は、ふくし総合支援室へ電話を入れる）。

(3) 志摩市あんしん見守りネットワークへの事前登録


認知症による徘徊高齢者の情報を事前に登録することにより、行方不明になってもあんしん見守り協力員や各関係機関へ情報提供をスムーズに行い、早期発見への対応に努めることができる。また、この事前登録の申込みによる情報については、鳥羽警察署にも情報共有を図るために事前に情報提供を行っている。

事前登録申込書の様式 : 別紙 1 参照

(4) 志摩市あんしんネーム

認知症による徘徊高齢者の家族や外出して家へ帰宅することに不安のある高齢者からの申し出により、名刺タイプの「あんしんネーム」カードを無料で配布(1 人 10 枚まで)し、日ごろから衣類のポケットやカバンなどに入れて身元がわかるようにする。

【あんしんネームの見本】

	あんしんネーム _____
【志摩市あんしん見守りネットワーク】	
氏名	<u>福祉 花子 (ふくし はなこ)</u>
連絡先	0 5 9 9 - _____ - _____
本人がお困りのようなら、ご連絡ください。	
発行者 ; 志摩市ふくし総合支援室	
0 5 9 9 - 4 3 - 8 1 3 2	